

## いのちと森を守る活動



ゴメロ村簡易水道事業完了  
(国際ボランティア貯金寄附金配分事業)

ゴメロ村の簡易水道事業は、安定給水のための最終調整を終えて 11 月末に完了しました。パイプ接合部や蛇口の交換など簡単な補修を含む今後の維持管理は、事業当初に結成した水道管理組合が行います。財源は、毎月の使用料(1 世帯月 10 ペソ)積立金です。11 月の訪問時に、パイプ接合部を着脱する作業を見せてもらいました。エドリラ組合長(写真右端)のリーダーシップのもと、住民たち自身による維持管理が持続することを期待しています。



PIHS スタッフと保健ボランティアの総会開催  
(WE21 ジャパンみどり助成事業)

ー パササンバオ代表 ナプサさんの報告より ー  
年末に開催された第 6 回パササンバオ総会は、10 月に心臓病で亡くなった保健ボランティア・ダンさんへの黙祷から始まりました。彼女は地域医療の改善のため、本当に頑張ってくれました。

総会に先立って実施された 5 日間の東洋医学の研修では、マニラから迎えた講師(代替医療 NGO イム・フィリピンのスタッフ)により、舌でわかる病気診断やストレス・薬物依存にも効く耳のツボなど貴重な知識、技術を学びました。彼女はベジタリアンだったため、私たちも 5 日間野菜と豆類だけで過ごしました。



総会で着用したお揃いの朱色の T シャツと、スクーフにしたハンカチは日本の皆様からの寄付です

巡回診療を含め 504 名支援 (10 - 12 月)  
CMIP ヘルス担当・ジョジョの報告

- \* 入院・治療支援患者数 101 名 (内訳: インフルエンザ/肺炎 43・腸チフス性高熱 4・アメーバ性下痢 6・脱水症状を伴う急性胃腸炎 8・デング熱 5・皮膚病 19・高血圧 6・回虫症 10)
  - \* 受入施設 (内訳: センテラノス公立病院 50 名、民間診療所・病院 8 名、CMIP クリニック 43 名)
- その他、主な活動

CMIP 地域医療保険 (グリーンカード) 料徴収  
(10 月 880 ペソ、11 月 780 ペソ、12 月 840 ペソ)  
巡回診療: 10 月ラトホ村、11 月ドンゴンラウ村  
(受診患者 403 名うち歯科 91 名)

**この活動は月 1000 円の医療支援会費で  
支えています**

- \* 特別医療支援: (2 年半前弁膜症手術を受けたハイスクール 4 年ヘルメニアのマニラ心臓センターにおける初検診。経過があまり良くなって担当医から術後検診の遅れを注意された)



ダグマ山系のアグロフォレストリー

ーパラゴムノキと果樹、在来種による環境保全ー  
(三井物産環境基金助成・3 年計画)

ー PFP ロニーさんの 1/23 付メールより ー  
パラゴムノキの苗木はもうスララの PFP 事務所に届きました。来月乾季にはいって大型トラックが通れる位に道路状態がよくなったらすぐブラクールに運ぶ予定です。多分トラック 4 台分になると思います。

住民も整地を済ませて、一部ではピーナッツやコーンを植えて待っています。長距離輸送で傷んだ苗木はしばらく 2 か所の苗床で育成します。強い日差しから苗木を守る小屋(集会や研修にも利用)の建設も始まりました。来月には近隣のパラゴムノキ農場を見学することになっています。またご報告します。

ー クハン村アグロフォレストリー事業 ー  
(イオン環境財団助成)

親族間の抗争が続いていたクハン村近郊で 11 月アッパセパカの村長が襲撃されました。クハン村住民も一部避難しましたが、PFP 担当者サムソン氏によると、今は治安も回復苗木の生育は順調とのことです。